



↑ メーデー会場の様子。今年も多くの組合員が清水マリパークに集結した。

2018連合静岡メーデー開催

暮らしの底上げ実現のため一致団結

4月22日(日)に清水マリパークにて、2018連合静岡地協メーデー・労福協まつりが開催されました。

当日は、全印刷の組合員から100名が参加し、連合静岡の各労組からも多くの組合員やその家族が参加し、会場は多くの人で賑わっていました。

メーデー式典は、はじめに主催者を代表してメーデー実行委員長挨拶、続いて、県議会議員、市議会議員など多くの方が来賓として挨拶をしました。

式典の最後は、「メーデー宣言」が採択され式典は終了しました。

式典終了後の静岡地域労福協まつりでは、会場周辺に各労組による模擬店が出店され、全印刷については、今年も飲み物の販売をはじめ、全印刷組合員をはじめ、他労組組合員さんとも交流することができました。

また、労福協祭りの中では、中央ステージにてイベントが行われ、「怪盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャーショー」や「常葉大学チアリーダー部ライブ」によるチアリーディングがあり、参加した組合員・家族も楽しいひと時を過ごしていました。

メーデーに参加してくださった組合員・家族のみなさん大変お疲れ様でした。



→メーデー宣言では、各労組の旗を掲げ、一致団結しました。

被災地・原発を巡り

脱原発・核廃絶を再確認



→21日(水)に開催された「さようなら原発全国集会」にて、キャラバン参加者はステージ上で「脱原発法案」を訴えました。

3月14日(水)から3月21日(水)にかけて、「フクシマ連帯キャラバン」を展開し、全印刷からは4名が参加し、静岡支部からは印2分会の石川昌規さんが参加してきました。

「フクシマ連帯キャラバン」は、原水禁が福島第一原発事故を風化させないことをはじめ、脱原発社会の実現を訴えることを目的に青年労働者を中心として開催をしている活動となっています。

キャラバンは、新潟、福島、茨木の各地を巡り、集会や要請行動をおこなってきました。

また、新潟では原発の見学、福島では、今だに復興の進んでいない被災地の見学があり、参加者は、原発・核の恐ろしさを改めて知ることができ、脱原発に向けて行動していくことの必要性を再確認しました。

新規組合員となる職員を対象に 労働組合についての学習会を開催



↑学習会には、新規組合員となる11名が参加。
(勤務体制上、警備Tを除く)

4月12日(木)、設備棟会議室において、2018新規組合員学習会を開催しました。

はじめに、支部川口執行委員長より新規組合員に向けて、お祝いの言葉と印刷局の春闘情勢や全印刷運動について説明がされました。

その後、労金・全労済の担当から、全印刷との関係等について説明がされました。

次に、支部執行部メンバーが自己紹介をおこない、その中で、川口執行委員長から「今後、各職場で何か困っていることがあれば、執行委員に気軽に相談してほしい。」と話がありました。

続いて、倉橋書記長から組合の組織構成及び活動についての説明があり、佐藤ユースネットワーク担当から印刷局で働く私たちの権利について、また、6月23日(土)から25日(月)に開催される友好祭について、説明と参加への呼びかけがされました。

最後に、倉橋書記長から4月22日(日)に開催する2018静岡地域労協ミーデーについて参加の呼びかけをおこない、今回の学習会は終了しました。

参加した新規組合員の皆さんお疲れ様でした。これからよろしく願います。

～第56回 全印刷友好祭について～

6月23日(土)～25日(月)、長野県の車山ハイランドホテルにて、小田原支部の主催で友好祭が開催されます。

現在、分会長宛に組合回覧を配布しており、5月2日(水)までを期限として募集をしております。様々な企画を通じて、同僚や他支部の組合員と友好を深めることのできる機会となりますので、皆さまで奮ってご参加ください！！

当局に対し

誠意ある回答を強く要求



↑全国から集結した組合員140名
による団結ガンバロー三唱

4月6日(金)、本局にて、2018春季生活闘争の各要求の実現に向けた「4・6全印刷中央総行動」を開催し、静岡支部からは、川口執行委員長、萩原組織部長、佐藤ユースネットワーク担当、職場代表として整1分会の田中悠さん、ユースネットワーク代表として印1分会の渡辺実さん、番1分会の坂本夏海さんが参加をしました。

総行動は、各支部執行委員長から理事長要請行動、各支部代表、ユースネットワーク代表による中央集団交渉をおこない、当局に対して誠意ある回答を示すように要求をしました。

その後、各種要求実現に向けた総決起集会を開催し、最後まで戦い抜くこと確認し終了しました。

核燃料の反対をアピール

全国から約1000人が集結

4月7日(土)、青森市の青い海公園で「第3回 4・9反核燃の日全国集会」が開催され、静岡支部から村越業務対策部長と加藤書記が参加してきました。

この全国集会は、1985年4月9日に当時の北村青森知事が県議会全員協議会の場で「核燃料サイクル施設建設受け入れ」を表明したことに抗議し、その撤回を求めて翌年から開始され、当初は、青森県の核燃反対派が抗議集会を開催してきましたが、1989年からは全国規模での集会が開催されました。



↑集会は、雨の降りしきる中の開催であったが、会場には多くの参加者が集い反核に対する思いを訴えた。

集会は、原水禁国民会議が中心となり集会実行委員会が結成され、会場には全国から約1000名の参加者が集い、集会とデモを行いました。

集会では、主催者挨拶、基調報告に続き、全国の各団体から活動報告が行われました。最後は、青森平和推進労働組合会議の阿部議長による団結ガンバローで集会は終了しました。

集会終了後は、青森市街にてデモ行進をおこない、その後、市内にて「全国交流集会」が開催されました。

翌日の4月8日(日)は、青森市からバスで移動し、六ヶ所村再処理工場正門前で、現地抗議行動を行いました。



↑集会終了後のデモ行進。
青森市街でシュプレヒコールを唱和。

安倍政権の退陣を求め 各団体が集結

4月6日(金)、静岡市の常盤公園にて、4・6公文書改ざん・安倍政権の退陣を求める緊急集会が開催され、静岡支部から金川副執行委員長、望月拓馬執行委員、望月航執行委員が参加をしてきました。

当日は、豪雨の中での開催となりましたが、会場には安倍政権の退陣を強く求めるため、各労組・各団体が集まりました。

集会は、戦争させない1000人委員会・静岡の小長谷保共同代表による主催者挨拶で開会され、その後、福島みずほ社民党副党首による挨拶が行われました。



→金川副執行委員長によるスピーチ



→今集会のために福島みずほ社民党副党首が来静し、演説をおこなった。

続いてスピーチとして、鈴木さとる静岡県議会議員、全印刷労組として金川副執行委員長、自治労静岡県職の原かほる氏から、それぞれが立場で今の安倍政権に対する思いを参加者に伝えました。

次に、集会アピール及びメッセージの照会がされ、集会の最後には、戦争させない1000人委員会・静岡の渡邊敏明共同代表の掛け声により団結ガンバローがおこなわれ、参加者全員で意思統一を図りました。

集会終了後は、雨の影響もありましたがデモ行進をおこない、静岡市中心部で安倍政権の退陣の思いを込めたシュプレヒコールを唱和し行進しました。

家族対策バスツアー デイズニールゾートを満喫

静岡支部は、2月24日(土)に「デイズニールゾートバスツアー」を開催しました。

今回のバスツアーは、組織部が中心となり、組合員とそこが家族との思い出づくり、組合員同士や家族がより一層、親睦を深めていただくことを目的に企画をしたものです。

当日は、寒空の中、早朝から参加者で印刷局前に集合し、デイズニールゾートを目的地としてバスで移動しました。

移動中のバスの中では、組合員さん同士が色々な話題で交流する様子やご家族で親睦を深めている様子うかがえました。また、参加された組合員のお子さんたちは、早くデイズニールへ到着しないかと心待ちにしておりました。



デイズニールゾートに到着後は、デイズニールランド及びデイズニールシーを同僚や家族と満喫し、参加した組合員やそのご家族で時間の許す限りデイズニールで遊びつくし、それぞれが楽しい思い出をつくりました。

参加した組合員の皆さん、組合員のご家族の皆さんお疲れ様でした。

→参加者全員での集合写真

〓お詫び〓

2月24日(土)に開催した支部家族対策バスツアーについて、本来なら2月及び3月発行の機関紙に掲載をするべきでしたが今回の4月発行にて掲載させていただくことについて深くお詫び申し上げます。